

別紙1 強度行動障害支援者養成研修カリキュラム

強度行動障害支援者養成研修カリキュラム(基礎研修)

科目名		時間	内容	
I 講義		6		
1 強度行動障害がある者の基本的理解	2.5	①強度行動障害とは	本研修の対象となる行動障害 強度行動障害の定義 強度行動障害支援の歴史的な流れ 知的障害／自閉症／精神障害とは 行動障害と家族の生活の理解 危機管理・緊急時の対応	
		②強度行動障害と医療	強度行動障害と精神科の診断 強度行動障害と医療的アプローチ 福祉と医療の連携	
	3.5	③強度行動障害と制度	自立支援給付と行動障害 他	
		④構造化	構造化の考え方 構造化の基本と手法 構造化に基づく支援のアイデア	
		⑤支援の基本的な枠組みと記録	支援の基本的な枠組み 支援の基本的なプロセス アセスメント票と支援の手順書の理解 記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ	
		⑥虐待防止と身体拘束	虐待防止法と身体拘束について 強度行動障害と虐待	
		⑦実践報告	児童期における支援の実際 成人期における支援の実際	
2 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基本的な知識				
II 演習		6		
1 基本的な情報収集と記録等の共有	1	①情報収集とチームプレイの基本	情報の入手とその方法 記録とそのまとめ方と情報共有 アセスメントとは	
	2.5	②固有のコミュニケーション	様々なコミュニケーション方法 コミュニケーションの理解と表出 グループ討議／まとめ	
	2.5	③行動障害の背景にあるもの	感覚・知覚の特異性と障害特性 行動障害を理解する氷山モデル グループ討議／まとめ	
合計		12		

強度行動障害支援者養成研修カリキュラム(実践研修)

科目名		時間	内容	
I 講義		4		
1 強度行動障害のある者へのチーム支援	2	①強度行動障害支援の原則	チームによる支援の重要性 支援の6つの原則 地域で強度行動障害の人を支える	
	2	①行動障害のある人の生活と支援の実際	行動障害のある人の家族の想い 日中活動場面における支援 夕方から朝にかけての支援 外出場面における支援	
2 強度行動障害と生活の組み立て				
II 演習		8		
1 障害特性の理解とアセスメント	2.5	①障害特性とアセスメント	障害特性の理解 障害特性に基づくアセスメント 行動の意味を理解する	
	3.5	①構造化の考え方と方法	強みや好みを活かす視点 構造化の考え方 構造化の方法	
			行動の記録の方法 記録の整理と分析 再アセスメントと手順書の修正	
	1	①記録の収集と分析		
4 危機対応と虐待防止	1	①危機対応と虐待防止	危機対応の方法 虐待防止と身体拘束	
合計		12		